

- 問1 日明貿易において、日本が輸出した品目とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。当時の貿易品の流れを整理して考えなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本は火薬の原料となる硫黄や、鉱物資源である銅、工芸品の刀剣などを輸出し、明側の需要に応えた。 | 2. 日本は仏教の経典を輸出し、外交上の優位性を保つために明の皇帝から大量の生糸を無償で受け取った。 | 3. 日本は大量の銀を輸出することで、明からキリスト教の教典やガラス製品などの西欧文化を輸入した。 | 4. 日本は国内で生産が余っていた綿織物を輸出し、その対価として明から金や香料を輸入した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 日本の古代から中世にかけて成立した書物について述べた文として、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 枕草子 → 日本書紀 → 風姿花伝 → 蒙古襲来絵詞 | 2. 枕草子 → 風姿花伝 → 日本書紀 → 蒙古襲来絵詞 | 3. 日本書紀 → 枕草子 → 蒙古襲来絵詞 → 風姿花伝 | 4. 日本書紀 → 蒙古襲来絵詞 → 枕草子 → 風姿花伝 |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
- 問3 15世紀、北山・中山・南山の三つの勢力（三山）が対立していた沖縄本島を統一し、首里を都とする琉球王国を建国した人物は誰ですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 山田長政 | 3. 尚巴志 | 4. 北条時宗 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問4 室町時代に足利義満によって始められた勘合貿易において、現在の大阪府にある堺とともに貿易の拠点として繁栄した、九州北部の港町はどこか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 博多 | 2. 兵庫 | 3. 長崎 | 4. 平戸 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問5 中世の有力な港町に関する記述として、外交上の重要な拠点となり、貿易による経済的な富を背景に有力な商人が自ら町を運営する力を蓄えた「自治都市」の説明として最も適切なものはどれか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 石山本願寺を中心として門前町が形成され、一向一揆の政治的・軍事的な拠点となった。 | 2. 元軍の再来に備えるため、博多湾の沿岸に大規模な石の防壁が築かれた。 | 3. 堺の豪商たちは会合衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。 | 4. 蝦夷地のアイヌ民族との交易を独占的に扱い、アイヌ文化と和人文化の接点となった。 |
|---|--------------------------------------|--|--|
- 問6 室町時代の農村の様子や自治組織について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------|
| 1. 農民たちは自衛のために武装し、寄合での決定に基づいて団結して行動した。 | 2. 商工業者が結成した「座」が、農村における年貢の徴収業務を独占した。 | 3. 自治の進展により、農民たちは「能」などの伝統芸能に関わることを禁じられた。 | 4. 幕府が任命した地頭が、寄合を主宰して村の掟を作成させた。 |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------|
- 問7 室町幕府の8代将軍である足利義政が担い手となった東山文化の建築的特徴について、当時の社会背景や文化の流れを踏まえた説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 禅僧の住居の様式が武家などの邸宅に取り入れられ、畳や床の間、付け書院を備えた書院造が確立した。 | 2. 鎌倉時代に中国から伝わった大仏様（天竺様）と呼ばれる技法により、重厚な屋根を支える力強い建築が寺院で広まった。 | 3. 平安時代の貴族が権力を誇示するために、大きな池を中心に複数の建物を廊下でつなげた様式が主流となった。 | 4. 南蛮貿易によるキリスト教やヨーロッパ文化の影響を強く受け、洋風の意匠を取り入れた豪華な建築が普及した。 |
|--|--|---|--|
- 問8 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明との貿易を開始した際に導入された制度について説明します。当時、東アジアの沿岸部で活動していた海賊（倭寇）と、正式な貿易船を区別するために用いられた「合い札」の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|-------|
| 1. 朱印状 | 2. 往来手形 | 3. 奉書 | 4. 勘合 |
|--------|---------|-------|-------|
- 問9 室町時代に、足利義満などの権力者から保護を受けて発展した文化について述べた文章として正しいものはどれですか。京都で発生した応仁の乱の時期よりも前から、伝統的な芸術として確立されていたものを選択してください。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 1. 菱川師宣によって、町人の風俗を描く浮世絵の技法が確立された。 | 2. 出雲の阿国が始めた歌舞伎踊りが、都市の町人の間で流行した。 | 3. 観阿弥・世阿弥の親子によって、歌や舞を中心とした能（能楽）が大成された。 | 4. 近松門左衛門らによって、義理人情を描いた人形浄瑠璃の脚本が数多く書かれた。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|--|
- 問10 室町時代の政治と文化についてまとめた資料において、京都の北山に建てられた寺院の建築様式が「一層は寝殿造、二・三層は禅宗様（仏殿造）を組み合わせ、全体に金箔を貼った豪華なつくり」であると説明されています。この建築物と、それに関連する人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 金閣 — 足利義満 | 2. 銀閣 — 足利義政 | 3. 銀閣 — 足利義満 | 4. 金閣 — 足利義政 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問11 13世紀後半に発生した元寇（モンゴル帝国の侵攻）が、その後の鎌倉幕府の衰退につながった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 1. 元と結んだ南京条約により、幕府の外交権が剥奪されたため | 2. 防衛戦であったため恩賞として与える土地が不足し、御家人の不満が高まったため | 3. 日明貿易の主導権を巡って、足利氏と北条氏が激しく対立したため | 4. 遣唐使の派遣を継続するために、農民に重い税を課すすぎて一揆が起きたため |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|--|
- 問12 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 朱印状 | 2. 割符 | 3. 御教書 | 4. 勘合 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問13 室町幕府が勘合（勘合符）を用いてまで、明との貿易を管理・継続した経済的な目的として、貿易品の特徴から推察される理由を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 明から輸入される綿織物が国内の武士の軍服として不可欠であり、幕府がその流通を独占して権威を高めるため。 | 2. 国内で貨幣を鋳造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。 | 3. 明の皇帝から贈られる生糸や陶磁器をすべて寺社に寄進し、宗教勢力を幕府の支配下に置くための手段としていたから。 | 4. 国内の銅や硫黄の生産量が過剰になり、それらを処分するために明を唯一の廃棄先として利用していたから。 |
|--|---|---|--|